


ふりがな 氏名	かじもと なつみ	都道府県	岡山県	
	梶本 夏未			
所属/肩書	岡山大学 教育学部 特別支援教育コース			
私のESD活動	誰もが能力を最大限に発揮できる就労を ASEAN 諸国で調査し、日本における働き方を変えていく			

活動の概要

私は産業人材育成において急成長する ASEAN 諸国において、7 か月間、企業におけるダイバーシティの受容体制について調査を行いました。現在はその結果を基に、日本の企業で働き方のダイバーシティが実現することを目指しています。ASEAN 諸国での調査時、障害の有無や、性別、経歴に関わらず純粋にその人の能力に投資し、マイノリティーの雇用にも結びついているという実情を知りました。一方で、日本のダイバーシティ推進はきめ細やかなサポートを実現しているものの、配慮事項への正しい共通理解がなされておらず、周囲の負担感等の原因になりかねないと感じました。これらの学びから、日本の企業に職場環境整備に関する提案書を提出し、それが岡山県内企業で採用されています。

私の専門は特別支援教育であり、主に障害者就労にスポットを当て活動しています。具体的には、製造業の会社で車椅子の方の作業効率を考えたデスクの作成といった環境整備や、障害者の作品ということ売りをするのではなく、純粋に質の高さで選ばれるようなブランディングを支援しています。

私は以上の活動から、無理のない働き方、仕事へのやりがいを理由に欠勤率の減少、取引先の拡大を実現し、障害者と雇用主の両者にとって有意義なものになると実感してきました。今後は、より汎用性の高い障害者雇用を目指し、その他のマイノリティーの人材育成にも結び付く先進事例を目指します。

今後の活動や協働への展望

学生の立場から、働き方のダイバーシティをより汎用性の高いものにしていきたいです。現在は障害者雇用に重きを置いているのですが、その調査において企業や教育機関の方の意見をお聞きすることで、一つの職場には障害者に対する配慮だけでなく、多様なニーズがあることを感じました。本プログラムで、様々な立場で活躍されている方の視点をすることで、私自身の活動をより発展させていけると考えています。

卒業後は教員として、ESD 活動を教育活動に取り入れたいです。その際、ESD 日本ユースの一員として他のユースの方と協働し、自分の専門に制限されない多様な学びを共有しようと考えています。具体的には、地域の方と話をする機会を授業に取り入れ、子ども達が住むエリアの社会課題が自分たちの課題意識として認識されることが動機となると考えています。その後調べ学習を起点に、深く関わる時間を持つことで、私は彼らと課題解決に取り組んでいきたいです。その際私自身の実体験や、本プログラムで繋がる同志にスカイプ等で話して頂くアドバイスが、彼らの中に ESD の意識が実感をもって培われるきっかけになると考えています。

これらの活動を通じて、次世代の ESD 実践者を育成していきます。